渋谷淑子 ピアノリサイタル
時空・響・流転 ―― Ⅷ

YOSHIKO SHIBUYA Piano Recital

新たな音空間を創造する透徹したピアニズム

※この演奏会は国立音楽大学個人研究費（特別支給）の助成を受けています。

北爪 道夫：様々な距離 Ⅱ
Michio Kitazume :“Distances Ⅱ”for Piano（2006）

アルノルト・シェーンベルク：ピアノ組曲 作品25
Arnold Schönberg : Suite für Klavier op.25（1921-1923）

コート・リッピ：ピアノとコンピュータのための「音楽」
Cort Lippe : Music for Piano and Computer（1996）

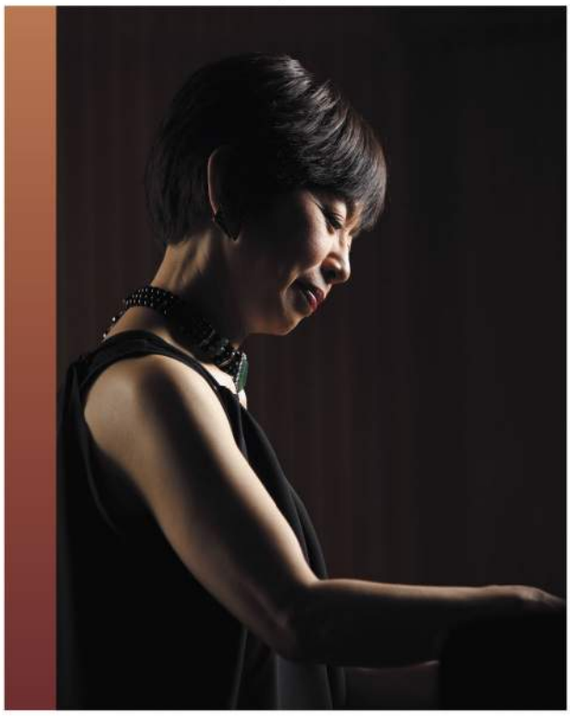
フランツ・リスト：巡礼の年報 第1年「スイス」第6曲“オーベルマンの谷”
Franz Liszt : Anneés de pèlerinage Première année“Suisse”Nº 6 Vallée d'Obermann（1848-1854）

湯浅 譲二：ピアノための内触覚的宇宙 Ⅱ・トランスフィギュレーション
Joji Yuasa : Cosmos Haptic Ⅱ －Transfiguration－ for piano（1986）

萩 孝之：ピアノとコンピュータのためのフルーイド・ディフュージョン
Takayuki Rai : Fluid Diffusion for Piano and Computer（委嘱作品／世界初演）（2015）

2015年 9月16日(水) 開演 7:00pm 東京文化会館小ホール 全自由席 ¥4,000 学生券 ¥3,000

●後援：日本アルバン・ベルク協会 ／ 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会
●マネジメント：(株)インターミューズ・トーキョウ
●チケットお取り扱い：(株)インターミューズ・トーキョウ TEL 03-3475-6870
チケットぴあ TEL 0570-02-9999（Pコード 262-917） 東京文化会館チケットサービス TEL 03-5685-0650



渋谷 淑子 Yoshiko Shibuya

国立音楽大学を首席で卒業。武岡鶴代賞受賞。国立音楽大学大学院を首席で修了。クロイツァー記念賞受賞。'84年、第5回クロード・カーン国際ピアノコンクール（パリ）ディプロマ賞受賞。'86年、フランス音楽コンクール第1位。'87年、第2回日本現代音楽ピアノコンクール優勝。全曲が現代曲からなる「時空・響・流転」シリーズのピアノリサイタルにおいて、ピアノとライブ・コンピュータ・システムを使用する作品を内外の作曲家に委嘱・世界初演する事により、ピアノ音楽の更なる可能性と新たな音空間の創造を追求し、注目を浴びる。'98年に、リサイタル「時空・響・流転―Ⅲ」《日本とイギリスの波動》の成果により、平成10年度文化庁芸術祭優秀賞を受賞。'02年には「時空・響・流転―Ⅴ」《日本とドイツの波動》の成果により、再び文化庁より平成14年度芸術祭優秀賞を受賞。ソロ・室内楽・伴奏など幅広い分野で活躍し、CDのリリースも多数にのぼる。国立音楽大学及び大学院教授。淑樹会主宰。

新たな「時空・響・流転」の創造へ――

1994年より開始した「時空・響・流転」の《波動シリーズ》のピアノリサイタルにおいては、プログラムの全曲を現代ピアノ曲で構成し、《日本とイタリアの波動》に始まり、隔年ごとにアメリカ、イギリスなど7カ国の諸作品を取り上げました。

このシリーズでは、海外では高く評価されながら、日本では知られずに埋もれていた前衛の現代音楽作品など計51曲を発掘・紹介するとともに、各国の作曲家の作品と日本人作曲家の作品を対比させたプログラムを組むことで、日本人作曲家の作品が海外の作品の中で占める相対的な座標の提示も行いました。

今回9年ぶりの開催となる「時空・響・流転」のリサイタルは、新たな出発点とし、今後は現代ピアノ音楽を中心に、地理的な空間のみならず、時をも超えた広範な作品によってプログラムを構成いたします。

「現代音楽」というと、ややもすれば孤島のように他の時代の作品と切り離された一分野であるかのように取り扱われがちですが、「現代音楽」の諸作品を精査し演奏すると、印象派・ロマン派はもとより、それ以前の作品から連なる流れは、途切れることなく「現代音楽」へと継がれていることを再認させられます。様々な時代の作品を「現代音楽」と同じ俎上で演奏することで、この潮流を提示していきたいと思います。

それとともに、引き続き現代ピアノ作品を内外問わず取り上げ、諸外国において名作とされながら日本においては十分な評価を得ていないもの、才ある作曲家の未だ知られざる秀作などを再紹介してまいります。

同時に、シリーズ第1回からテーマとしてきた、ピアノとライブ・コンピュータ・システムのためのインタラクティブ・コンピュータ音楽の作品を内外の作曲家に委嘱・初演し、「新たな音空間の創造」と「ピアノ音楽の更なる可能性の追求」をすることもこれまで同様、力を注ぎたいと思います。

ピアノ演奏により創り出された音楽が「時空の中で響きと成って流転する」音空間を創造する、新たな「時空・響・流転」リサイタル・シリーズの展開にご期待ください。